

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(返子市立返子小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上

1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・基礎的基本的な知識・技能の習得
- ・時代環境の変化に主体的に対応するための思考力、判断力、表現力の育成
- ・教育相談コーディネーターを中心とした支援体制の充実
- ・支援教育の推進

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・保護者と学校の連携によって基本的な生活習慣や家庭学習の習慣を確立させる
- ・学校経営方針を保護者、地域に伝え、その実現に向けて協力を依頼する
- ・学校を支援してくれる保護者・地域ボランティアを活用する

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 「確かな学力」を育むための個に応じた指導の充実	①基礎・基本の定着に向けた授業改善 ②言語活動の充実に向けての研究推進 ③外国語活動の計画的な実践の推進	①分析に基づいた個に応じた指導の充実を図る ②個に応じた指導の実践の充実 ③返子小の特別な学習環境を踏まえた学習指導の実践 ④長期休業期間中の学習支援の充実 ⑤支援教室の積極的な活用	①分析に基づいた個に応じた指導の充実を図る ②個に応じた指導の実践の充実 ③返子小の特別な学習環境を踏まえた学習指導の実践 ④長期休業期間中の学習支援の充実 ⑤支援教室の積極的な活用
	(評価)	(評価)	(評価)

① 達成した ② 達成した ③ 達成した	①達成した ②達成した ③達成した ④達成した ⑤達成した	①達成した ②達成した ③達成した ④達成した ⑤達成した
成果と課題 ①校内研究を通して、学年を単位とした教材研究や指導法の検討を進め、授業改善につとめた。 ②委託研究と並行して思考力・判断力を育て高めるための言語活動の充実について取り組みを進めた。また、体育科授業研究を進め11月に研究発表を行った。 ③担当を中心に研修会を行い、時間割表の位置づけと年間計画を作成、実践に取り組んだ。	成果と課題 ①・②校内研究をとおして低・中・高ブロックを単位とし充実を図った。 ③オープンスペースの積極的活用が図られた。 ④サマースクールについては、今年度「海洋教育」に力を置いて実施した。海での活動が主体であったが、学校支援地域本部のバックアップにより、多くのボランティアが集まり、安全に充実した内容で実施することができた。 ⑤支援教育推進巡回指導員と教育相談コーディネーターが連携して積極的に活用した。	成果と課題 ①・②「自分の考えをもち、伝え合い、学び合う児童の育成」をテーマに各ブロック毎に校内研究に取り組み、児童の発達段階や発達特性に合わせ、「言葉」を大切にした指導の工夫の改善を図った。 ③学年集会やチームティーチングなどでオープンスペースの積極的な活用が図られた。 ④夏季休業中の学習支援では主に算数の補講を行い、3日間で2～6年生までの児童253名の参加があった。また、サマースクールでは、全19講座にのべ928名の申し込みがあり抽選を行うほどの盛況であった。今年度も学校支援地域本部のバックアップにより、多くのボランティアが集まり、安全に充実した内容で実施することができた。 ⑤支援教室の一層の充実が図られた。特に、教育研究所の支援教育推進巡回指導員及び巡回スクールカウンセラーと本校教育相談コーディネーターとが連携して運営に携わったことで効果も上がった。

行動プラン

②
「読解力」向上の取り組みの推進

H25(2013)年度取り組み内容

H26(2014)年度予定取り組み内容

H27(2015)年度予定取り組み内容

①言語活動・コミュニケーション力向上に関する研究推進 ②思考力・判断力・表現力の向上に向けての取り組みの検討	①言語活動・コミュニケーション力向上に関する授業の検証 ②発達段階に応じた課題図書の実践 ③指導法の工夫改善	①言語活動・コミュニケーション力向上に関する授業の検証 ②発達段階に応じた課題図書の実践 ③指導法の工夫改善
(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
成果と課題 ①・② 委託研究において思考力・判断力を育てるという視点から効果的な言語活動の在り方について研究を進め、研究成果については研究発表を行った。 ② 授業参観等で管理職も積極的に指導に当たった。	成果と課題 ①・③国語科を中心に行った「言葉」を大切にする指導の工夫では、横浜国立大学から講師を招聘し、授業研究を中心に検証を実施し、一定の成果を得た。 ②学校図書館指導員の尽力により課題図書の整理や紹介とともに図書の時間の有効活用が図られた。	成果と課題 ①・③校内研究では昨年度に引き続き、「言葉」を大切にする指導の工夫に取り組み、実践家の講師を招聘し、各ブロック毎に研究上を実施した。その後の研究協議では成果や課題について検討したり、講師からアドバイスを受けて、授業力の向上を図った。 ②特に、学校図書館指導員や学校支援地域本部のボランティアによって充実した読み聞かせが出来た。今年度は、戦後60周年に当たるため、学年に応じた、戦争児童文学の特別版や、影絵による宮澤賢治の物語の上映など充実した内容で実施できた。

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 読書活動の推進	①学校図書館の整備と充実 ②読み聞かせボランティア、図書館ボランティアの活用推進 ③市立図書館との連携の推進	①学校図書館の整備と充実 ②読み聞かせボランティア、図書館ボランティアの各学年・クラスへの定着 ③市立図書館の積極的な活用	①学校図書館の整備と充実 ②読み聞かせボランティア、図書館ボランティアの各学年・クラスへの定着 ③市立図書館の積極的な活用
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価と課題) ①達成した ②達成した ③達成できなかった	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①学校図書館指導員の指示のもとで図書委員・図書館ボランティアにより、図書室の整理整頓を進めた。 ②各学年と連絡調整を行い、年間実施計画を立てて取り組みを進めた。 ③使用学年・学級が増え活用が進んだ。	成果と課題 ①今年度より貸し出し方法をこれまでの「ブックカード方式」から「DATE DUE」に変更したが、手続きの簡素化が出来、貸し出し数の増加にも繋がった。 ②今年度も多くの読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせを全学年で実施した。 ③児童への周知が不十分なこと、ネットワークを介した検索システムが確立していないことなどが挙げられる。	成果と課題 ①「DATE DUE」に変更してから1年が経ち、子どもたちもシステムに慣れてきたためか、貸し出し数の増加が進んだ。また、「図書室だより」も低学年向けと中・高学年向けというように発達段階に応じた内容にしているため、児童にとって必要な本の情報が得られる。 ②読み聞かせには、今年度は155名のボランティアが集まった。今年度は、戦後60周年に当たるため、6年生向けに、戦争児童文学の特別版や、影絵による宮澤賢治の物語の上映など充実した内容で実施できた。 ③中学年を中心に市立図書館に行き、書庫の見学や貸し出しシステムについて学んだ。また、市立図書館の司書の方に来校いただき、本校の図書指導員や図書担当の教員を中心に図書の選定など指導を受けた。

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
④ 校内支援体制を活用した支援教育の推進	①校内支援会議等を通して情報共有と組織的な取り組みを推進 ②保護者との密な連携による支援の実践 ③校内支援体制を確立し外部専門機関との連携を推進	①校内支援チームの取り組みの充実 ②中学校との連携を踏まえた支援教育の検討と実践 ③スクールカウンセラー、支援教育推進巡回指導員、うるおいフレンドや外部専門機関との連携の充実	①校内支援チームの取り組みの充実 ②中学校との連携を踏まえた支援教育の検討と実践 ③スクールカウンセラー、支援教育推進巡回指導員、うるおいフレンドや外部専門機関との連携の充実 ④支援教室の活用を進める
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した
	成果と課題 ①年3回の児童理解研修会を行うとともに、	成果と課題 ①3名の教育相談コーディネーターを中	成果と課題 ①継続的に福祉的支援が必要な児童に対しては引き続き 教育研究所 児童相談所 子育て支援課 スクー

毎月の職員会議で情報交換を行った。また、校内支援会議では教育相談コーディネーターを中心に具体的な支援の手立て等を検討し、実施した。

②支援が必要な児童の保護者と心理の専門家や外部機関と連携を図り、支援の方法や内容について職員間で共通通解を行い、巡回指導員の手も借りて実践した。

③心理の専門家や外部機関と連携を取り、支援の方法や内容についてアドバイスを受けた。また、保護者の対応についても支援してもらった。

心に児童相談所、市子育て支援課、スクールソーシャルワーカーと定期的にケース会議をもち、情報共有だけでなく、今後の具体的な方向性についても検討を進めた。

②主な進学先2校の教育相談コーディネーターと連携を密に取った。また、心の教室相談員も中学校と情報交換を積極的に行った。

③教育相談コーディネーターだけでは対応できないケースについては、積極的に外部専門機関を利用し、みとりと方向性を確認した。

④支援教育推進巡回指導員と教育相談コーディネーターが連携して積極的に活用した。

い、教育相談所、児童相談所、市子育て支援課、スクールソーシャルワーカーと定期的にケース会議をもち、情報共有だけでなく、今後の具体的な方向性についても検討を進めた。

②主な進学先2校の教育相談コーディネーターと連携を密に取った。特に課題をもつ児童については、進学先の中学校の教員に来校していただき、学習や生活の様子など行動観察をしてもらった。また、心の教室相談員も中学校と情報交換を積極的に行った。

③教育相談コーディネーターだけでは対応できないケースについては、積極的に外部専門機関を利用し、みとりと方向性を確認した。また、今年度は、心理検査を希望する親子が多く、巡回スクールカウンセラーに検査だけでなく、保護者に対して、丁寧にフィードバックを行っていただいた。

④支援教育推進巡回指導員が取り出し授業を行うだけでなく、心理検査や支援教育推進巡回指導員と教育相談コーディネーターとの情報共有の場としても多く利用した。

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(返子市立返子小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上

2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

- ・学校、家庭の連携により、基本的な生活習慣を育成する
- ・豊かな心を育む情操教育を推進する
- ・食育および心身の健康に関する健康教育の取り組みを推進する

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・保護者と学校の密な連携による児童の基本的な生活習慣を育成する
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の家庭での取り組み

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 基本的な生活習慣の育成	①あいさつ運動の推進 ②基本的な生活習慣育成について学校から発信していく ③学級懇談、個人面談等の機会を利用して保護者との連携を深める	①あいさつ運動を推進する ②マナー・ルールを守る態度を育てる ③基本的な生活習慣育成について学校から発信し、PTAとともに取り組んでいく ④学級懇談、個人面談等の機会を利用して保護者との連携を深める	①あいさつ運動を推進する ②マナー・ルールを守る態度を育てる ③基本的な生活習慣育成について学校から発信し、PTAとともに取り組んでいく ④学級懇談、個人面談等の機会を利用して保護者との連携を深める
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった ③達成した ④達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった ③達成した ④達成した
	成果と課題 ①児童会中心に取り組みを進めた。学校評価アンケートでも保護者に評価を聞き指導	成果と課題 ①児童会を中心に「あいさつ運動」を継続して行った	成果と課題 ①児童会を中心に「あいさつ運動」を継続するとともに、学校長も自ら登校時を中心に児童への挨拶指導を行った。 ②道徳の時間を中心に全ての教科・領域、また学校行事等でも

<p>に生かしている。</p> <p>②児童への指導をやPTAと連携は進めてきたが、保護者を巻き込んだ取り組みは今後さらに進める必要がある。</p> <p>③各クラスで取り組んでいる。</p>	<p>②道徳の時間を中心に全ての教科・領域、また学校行事等でも集団行動での規律やマナー等の指導に力を入れた。児童の中でもお互いに守っていこうという意識が根付いてきているが、登下校中のマナーはまだ不十分である。</p> <p>③④お便りや懇談会、PTA運営委員会で呼びかけ連携した取り組みを進めている。</p>	<p>集団行動での規律やマナー等の指導に力を入れた。児童の中でもお互いに守っていこうという意識が根付いてきているが、歩道の歩き方や、横断歩道・踏切の渡り方など地域の方から注意や指摘を受けることも多々有り、登下校中のマナーはまだ不十分である。</p> <p>③④学校からは、ホームページの充実にはまだ課題はあるが、「学校だより」「PTAだより」また「学年・学級だより」を定期的に発行し、情報の発信に努めている。また、年度末アンケートでもまずまずの評価をいただいている。保護者からは、懇談会やPTA運営委員会や保護者アンケート等で要望や意見を寄せていただき、改善を図っている。</p>
--	--	--

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>②豊かな心を育む道徳教育の推進</p>	<p>①各教科や総合的な学習の時間、特別活動などと内容の関連を図る</p> <p>②児童会活動を活性化させていく</p> <p>③異年齢集団の交流を推進する</p>	<p>①各教科や総合的な学習の時間、特別活動などと内容の連携を図る</p> <p>②児童会活動等を通して自ら取り組む主体的な姿勢を育てる</p> <p>③異年齢集団の交流を推進する(たてわり集団によるグループ活動への取り組み)</p>	<p>①各教科や総合的な学習の時間、特別活動などと内容の連携を図る</p> <p>②児童会活動等を通して自ら取り組む主体的な姿勢を育てる</p> <p>③異年齢集団の交流を推進する(たてわり集団によるグループ活動への取り組み)</p>
	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p>
	<p>成果と課題</p> <p>①各学級における道徳の時間や学級生活での道徳的な実践は行われ、成果も上がっている。各教科・特別活動指導における道徳との関連についても配慮できた。</p> <p>②児童会担当教員がよく児童を指導し、縦割り集団やユニセフ募金、マダガスカル小学校支援活動などにも取り組むことができた。</p> <p>③縦割り集団活動の内容充実を図ることが</p>	<p>成果と課題</p> <p>①各教科・領域を横断的に取り上げ積極的に実践を行った。</p> <p>②特にユニセフ活動を中心に全校をとおして活発に活動した。</p> <p>③今年度より異学年集団の交流のねらいをより明確にしていくため、活動内容を祭り系からグループ活動系に変更した。活動については工夫・改善が必要であるが、ねらいはほぼ達成できた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①逗子小児童の実態から、特に「自分の考えを持ち、受信発信を通して、ともに学びをつくりあげることができる児童の育成」「コミュニケーション力の向上」に視点を置き校内研究を推進している。今年度も国語科を中心に、全ての教科・領域で「言葉」を大切にしている指導の工夫を系統的な視点をもって、授業実践を行った。</p> <p>②③通常のたてわり活動をはじめ、たてわり交流デーやユニセフ活動等、児童が主体となって活発に活動することができた。</p>

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>③豊かな体験活動の推進</p>	<p>①優れた芸術体験事業など芸術鑑賞事業を進める</p> <p>②校内に作品等を展示し、文化的要素を高めた掲示を行う</p>	<p>①優れた芸術体験事業など芸術鑑賞事業を進める</p> <p>②作品等を展示し、文化的要素を高めた掲示を各学年クラスで工夫する</p>	<p>①優れた芸術体験事業など芸術鑑賞事業を進める</p> <p>②作品等を展示し、文化的要素を高めた掲示を各学年クラスで工夫する</p>

	③宿泊行事などを通じて児童の人間関係を深める	③宿泊行事やサマースクール(海洋体験教室)などを通じて児童の人間関係を深める	③宿泊行事やサマースクール(海洋体験教室)などを通じて児童の人間関係を深める
	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①文化庁巡回体験事業や市のアウトリーチ事業などに応募し芸術体験行った。また学年独自で邦楽鑑賞なども行ってきた。 ②職員室前の廊下や階段等に、児童の作品や地域の方々の作品を展示した。 ③高学年で行った宿泊行事は児童間の人間関係を深めるなどの成果を上げた。	成果と課題 ①今年度も高学年を対象に「影絵」、低・中学年を対象に文化庁巡回公演の劇を鑑賞した。 ②職員室前の廊下やオープンスペース等に、児童の作品や地域の方々の作品を展示した。 ③夏季休業中にも関わらず多くの参加があった。体験活動では、児童が協働して取り組むプログラムも多く用意し、相互の人間関係、信頼関係を深めることができた。	成果と課題 ①「逗子文化プラザ」の事業である「アート便」が今年度も当たり、6年生が「能楽」、3年生が「落語」の鑑賞を行った。「能楽」では実際に衣装や面を着けて舞う実技指導も受けた。 ②職員室前の廊下やオープンスペース等に、児童の作品や地域の方が撮影した富士山の写真や作品を展示した。また市役所の5階や文化プラザの1階ギャラリーでも児童の絵画作品を中心に展示してもらい期間中に見学に行った。 ③宿泊行事(林間学校等)や夏季休業中に実施したサマースクールの海洋体験教室では児童の自主性を重んじ、協働して取り組むプログラムを多く用意し、相互の人間関係、信頼関係を深めることができた。

行動プラン

④ 食育と体力づくり・健康教育の推進	H25(2013)年度取り組み内容	H24(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
	①保健便り等を発行して健康について積極的に啓発していく ②健康教育の全体計画に従い健康教育について学校として推進していく ③早寝・早起き・朝ご飯等、家庭生活の充実について保護者に働きかけていく	①保健便り等を発行して健康について積極的に啓発し、疾病やケガの予防に努める ②健康教育の全体計画に従い体力作りを進めて行く(運動能力調査の実施) ③食育の全体計画に従い、保護者と連携をとりながら食育を推進していく	①保健便り等を発行して健康について積極的に啓発し、疾病やケガの予防に努める ②健康教育の全体計画に従い体力作りを進めて行く(運動能力調査の実施) ③食育の全体計画に従い、保護者と連携をとりながら食育を推進していく
	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①養護教諭や担任を中心に、学校として取り組むことができた。	成果と課題 ①2名体制の養護教諭を有効に活用し、特にインフルエンザ、溶連菌感染症等の	成果と課題 ①2名体制の養護教諭を有効に活用し、特にインフルエンザ、溶連菌感染症等の流行性感冒についての未然防止・早期対応を迅速に図った。特にインフルエンザの流

②運動能力の測定等を行い、児童の実態を把握することができた。
③栄養教諭配置となり、学年ごとの食育授業やサマースクール講座なども開催して、保護者とも連携し進めることができた。

流行性感冒についての未然防止・早期対応を迅速に図った。
②運動能力調査を実施し、本校の児童の特徴や向上すべき点を分析し、指導に役立てた。
③栄養教諭の配置校である本校では、各学年での食育の推進とともに、給食試食会等をとおして、保護者向けの食育も充実させた。

行する季節には、給食前に「手洗いの歌」を全校放送で流し注意喚起を促した。
②全校で実施した、運動能力調査は、学年全体で取り組み、本校の児童の特徴や向上すべき点を分析し、児童が相互に高め合えるような指導を工夫した。次年度はキャラバン隊の指導を受ける予定である。
③栄養教諭の配置校である本校では、各学年での食育の推進とともに、給食試食会等をとおして、保護者向けの食育も充実させた。また、「給食室だより」を通して、旬の食材の紹介や栄養について子どもたちに分かり易く伝えることができた。

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

1 多様な教育的課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- ・学校と保護者、地域との連携を深め、児童の安全・安心を確保する
- ・教育相談コーディネーターを中心とする児童支援組織による不登校・学習不適應問題への組織的・効果的な対応を進める
- ・幼稚園、保育園や中学校との連携を進める
- ・小学校外国語活動を他校とも連携しながら推進する

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・児童の安全確保については、保護者等と歩連携して通学路の点検やパトロールを実施する
- ・いじめや不登校等の問題については、教育研究所を初めとする関係諸機関と連携をとりながら進めて行く
- ・地域の幼稚園や中学校と積極的に情報交換を進めて行く

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 学校安全の推進	①学校、PTA校外委員会、外部関係諸機関との連携の充実を図る ②安全点検、危険箇所の修理などの早期対応を図る ③大規模地震・大規模津波を視野に入れた総合的な防災計画を作成する	①学校、PTA校外委員会、外部関係諸機関との連携を図り、地域にも働きかける ②安全点検、危険箇所の修理などの早期対応を図る ③総合的な防災計画に基づいて避難訓練等の定着と充実を図る ④児童への安全教育の推進と教職員の危機管理能力の充実を図る	①学校、PTA校外委員会外部関係諸機関との連携を図り、地域にも働きかける ②安全点検、危険箇所の修理などの早期対応を図る ③総合的な防災計画に基づいて避難訓練等の定着と充実を図る ④児童への安全教育の推進と教職員の危機管理能力の充実を図る
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した
	成果と課題 ①、②PTA校外委員と連携し、危険箇所の占検を1 改善要望を市策におぼれた きた	成果と課題 ①、③文化教育ゾーンの4施設と合同で避難訓練を実施し 各職員の配置や緊	成果と課題 ①、③文化教育ゾーンの4施設と合同で地震と津波を想定した避難訓練を実施し、各職員の配置や緊急時の誘導の仕立等について確認できた。今年度は、児童は教

<p>点検をし、改善策を甲子園に求めた。また、関係機関との合同点検を実施できた。</p> <p>③防災アドバイザーの助言のもと津波避難の在り方を検討し具体化させた。</p>	<p>避難訓練を実施し、各職員が配置し、緊急時の誘導の仕方等について確認できた。今後は不審者が侵入した際の対応訓練も、各公共施設と連携して行っていきたい。</p> <p>②月ごとの安全点検を徹底し、必要な場合は修理を早急に行うなどの対応を取った。</p> <p>④引き続き、「逗子小学校安全マニュアル」に沿って、津波や火災、不審者など様々な危険から回避する訓練を定期的</p>	<p>導の仕方等について確認できた。今年度は、児童は教室棟の3階へ、他の施設利用者は体育館への避難を原則としたが、課題も有り、次年度は、その改善に向けさらに安全な避難を目指していきたい。また、高台への二次避難についても訓練を実施していきたい。</p> <p>②業者による遊具や防災設備の定期点検だけでなく、職員による月ごとの安全点検を徹底し、必要な場合は教育総務課の指示を受けながら、修理を早急に行うなどの対応を取った。</p> <p>④「防災計画・消防計画」や「逗子小学校安全マニュアル」に沿って、津波や火災、不審者など様々な危険から回避する訓練を定期的</p>
--	--	--

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>② 問題行動等への対応の推進</p>	<p>①差別やいじめを許さない学級づくりを行う ②教育相談コーディネーターを中心とする組織的な対応をはかる ③外部専門機関との連携を密にしていく</p>	<p>①差別やいじめを許さない学級づくりを進める ②教育相談コーディネーターを中心とする組織的な対応と早期発見、予防を心がける ③外部専門機関との連携を密にするとともに、支援教育推進巡回指導員などの活用を進める ④全校体制のもと児童個々に応じた指導・支援の実施を図る</p>	<p>①差別やいじめを許さない学級づくりを推める ②教育相談コーディネーターを中心とする組織的な対応と早期発見、予防を心がける ③外部専門機関との連携を密にするとともに、巡回相談員などの活用を進める。 ④全校体制のもと児童個々に応じた指導・支援の充実を図る</p>
	<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した</p>
	<p>成果と課題 ①毎月の校務分掌会議や職員会議の中で確認し合った。 ②支援教育の推進と同様に考えている。 ③支援教育の推進と同様に考えている。</p>	<p>成果と課題 ①、④「命の大切さ」を児童に伝えるため、道徳の時間を中心に全ての教科・領域の中で、「命の授業」に取り組んだ。また、児童には朝会での学校長の話の中で、保護者にはお便りで、職員には事故防止会議等で「いじめ」「暴力」「差別」の根絶を投げかけた。 ②、③問題行動のある児童に対しては、教育相談コーディネーターが中心となって早期発見・早期対応に当たっているが、ケースによっては外部専門機関との連携を密にとり、連携して対応している。</p>	<p>成果と課題 ①「命の大切さ」「いじめ、暴力、差別の根絶」「ルールやマナーの徹底」の3つを児童への約束事として、校長室前の掲示板に掲げ、児童に啓発している。授業では、道徳の時間を中心に全ての教科・領域の中で、「命の授業」に取り組んだ。特に今年度は、高学年の理科の時間に「生命の誕生」を全員が模造紙にまとめ、校内に掲示し、全校児童へ取り組みの成果を発表した。また、児童には朝会での学校長の話の中で、保護者にはお便りで、職員には事故防止会議等で「いじめ」「暴力」「差別」の根絶を投げかけた。 ②、③、④課題をもつ児童に対しては、教育相談コーディネーターが中心となって早期発見・早期対応に当たっているが、ケースによっては外部専門機関との連携を密にとり、連携して対応している。また、支援教室、相談室、校長室等を利用した取り出しの授業を行い、児童の特性や発達段階等、個に応じた丁寧な指導を実施した。</p>

③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	①幼稚園・保育園との情報交換を密にしていく ②幼稚園・保育園との交歓行事を実施していく ③中学校との交流行事を検討する	①幼稚園・保育園との効果的な連携についてカリキュラムの検討を進める ②幼稚園・保育園との交換行事を学年行事として実施していく ③中学校との交流行事を進める	①幼稚園・保育園との効果的な連携についてカリキュラムの検討を進める ②幼稚園・保育園との交換行事を学年行事として実施していく ③中学校との交流行事を進める
	(評価) ① 達成した ② 達成できなかった ③ 達成した	(評価) ①達成できなかった ②達成できなかった ③達成できなかった	(評価) ①達成できなかった ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①就学予定園児について、幼稚園・保育園と連携ができた。 ②次年度就学予定の園児との交流を行い高い評価を頂いているが、こちらから出かけていく交歓行事は行えていない。 ③職業体験事業で中学生を受け入れ、外国語活動の授業では中学の英語教員の指導を受け、一部部活動の見学を行うなど、交流を進めることができた。	成果と課題 ①、②幼稚園、保育園との交流は、「学校へ行こう週間」や「ようこそ集会」などで単発で行っているが、交換行事やカリキュラムの検討までは進んでいない。 ③中学校との交流も、外国語活動や生徒指導の引継ぎ等で行っているが、今後他の教科、行事にも広げて行きたい。双方の日程調整が課題となっている。	成果と課題 ①②幼稚園、保育園との交流は、「学校へ行こう週間」や「ようこそ集会」などで1年生を中心に行事として行っているが、交換行事やカリキュラムの検討までは進んでいない。 ③職業体験事業で中学生を受け入れ、小学生と交流を図る一方、外国語活動の授業では中学の英語教員の指導を受け、一部部活動の見学を行うなど、定期的な交流を進めることができた。

行動プラン

	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
④ 国際教育の推進	①外国語活動の在り方について職員研修を行う ②IEA(国際教育指導助手)との連携について検討を進める ③評価等について検討を進める	①外国語活動の在り方について職員研修を行い、実践力を高める ②IEA(国際教育指導助手)との連携について実践していく ③自己表現力・コミュニケーション能力の育成を目指した授業実践の実施	①外国語活動の在り方について職員研修を行い、実践力を高める ②IEAとの連携について実践していく ③自己表現力・コミュニケーション能力の育成を目指した授業実践の実施
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③達成できなかった	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①、② 校内で研修を進め、また、IEA(国際教育指導助手)とのコミュニケーションも担当が調整しながら、担任を中心とした授業実践を進めている。 ③各学年で検討をし試行しているが、学校全体としての計画を定めるには至っていない。	成果と課題 ①、③中学校の英語教員と相互に交流授業を行い、特に自己表現力・コミュニケーション能力の育成を目指した外国語活動における小・中連携のあり方やカリキュラムの繋がりについて吟味した。 ②IEA(国際教育指導助手)との連携については、高学年のほか、低・中学年にも実施し、今後の外国語活動の導入を見据え、児童に興味・関心をもたせるような教材を開発した。	成果と課題 ①小学校と中学校の担当教員同士で相互に交流授業を行った。特に、外国語活動における小学校から中学校英語へのスムーズな繋がりを目指し、実践をととして研究が深められた。 ②IEA(国際教育指導助手)との連携については、高学年のほか、低・中学年にも実施し、第3学年からの外国語活動の導入を見据え、児童に興味・関心をもたせるような教材を担当とIEAが協働して開発に携わった。 ③本校では「自分の考えをもち、伝え合い、学び合う児童の育成～国語科を中心に、「言葉」を大切にす指導の工夫を通して～」というテーマで研究を推進している。今年度は、「書くこと」を中心に自己表現力・コミュニケーション能力の育成を目指した授業の実践を行った。

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑤ キャリア教育の推進	①小学校におけるキャリア教育の在り方について職員の研修を行う ②2分の1成人式など、生き方を見通した学習等について検討する	①サマースクール等支援サポート活動を活用し推進を図る ②キャリア教育の全体計画に基づいて実践を行う	①サマースクール等支援サポート活動を活用し推進を図る ②キャリア教育の全体計画に基づいて実践を行う
	(評価) ① 達成できなかった ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①一定程度のキャリア教育に係る個別の研修も行い教職員間の共通理解が進んでいるが、校内研修で取り上げて研修を深めるまでには至っていない。 ②2分の1成人式の取り組みが定着し、児童や保護者にも好評である。	成果と課題 ①サマースクールの工作や給食献立づくりなど保護者や学校支援地域本部事業を効果的に活用し、推進を図った。 ②全体計画のほか、学級によっては「ふれあい授業」などで扱う場合もあり、同学年でも学級ごとに内容が異なる場合がある。今後は、学校支援地域本部事業を活用し、講師の派遣など一層の充実を図りたい	成果と課題 ①夏季休業中に実施したサマースクールでは、普段の授業では出来ない体験学習を中心に行った。サマースクールは、学校支援地域本部の主たる事業であり、地域本部の呼びかけにより、広く専門の講師を招聘でき、またボランティアの支援も得られた。 ②中学年を中心とした福祉学習や低学年の買い物学習、また林間学校や遠足などでは、体験から学ばせることに主眼を置いて取り組んだ

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑥ 福祉教育の推進	①地域講師やボランティアを活用し、福祉教育の実践を行う ②児童の生活に根ざした福祉教育について検討する	①人と人の温かい人間関係・コミュニケーションづくりに努め、思いやりの心、人権尊重の精神を育む教育の推進をはかる ②地域講師やボランティアを活用した、福祉教育の実践を進める	①人と人の温かい人間関係・コミュニケーションづくりに努め、思いやりの心、人権尊重の精神を育む教育の推進をはかる ②地域講師やボランティアを活用した、福祉教育の実践を進める
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①外部講師を活用し実施した。 ②福祉教育担当者会で確認されている「ふつうの・くらしの・しあわせを」を踏まえて実践を進めた。	成果と課題 ①道徳の時間を中心に各教科・領域で取り組んだ。また、児童会でも「あいさつ運動」やユニセフ活動をとおして推進を図った。 ②第4学年を中心に、逗子市社会福祉協議会や県立岩戸養護学校と連携し、身近な福祉について学んだ。また、東京で開催されるパラリンピックへの関心を高めるため、障がい者スポーツの一つであるフライングディスクを障がい者とあそびに行	成果と課題 ①毎週の「朝の読み聞かせ」、また道徳の時間を中心に各教科・領域で取り組んだ。また、本校では、ルールとマナーの向上を目指した指導を推進しており、児童会でも「あいさつ運動」やユニセフ活動をとおして思いやりの心、人権尊重の精神を育むための推進を図った。 ②中学年を中心に、逗子市社会福祉協議会や県立岩戸養護学校と連携し、身近な福祉について学んだ。また、障がい者スポーツの一つであるフライングディスクを障がい者とともにいたり、点訳奉仕会の方とともに第2の言語である「点字・点訳」の体験を行ったりし、関心を深めた。

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑦ 環境教育の推進	①授業だけでなく、児童会活動等に盛り込み、学校生活全体で取り組める内容を検討する ②家庭との連携を図り児童の活動の充実を	①児童会活動等に盛り込んだ活動の実践を推進する ②節電・節約を意識した取り組みを児童中心に行う	①児童会活動等に盛り込んだ活動の実践を推進する ②節電・節約を意識した取り組みを児童中心に行う

	図る	③家庭との連携を図り児童の活動の充実を図る	③家庭との連携を図り児童の活動の充実を図る
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①児童会の「ミックスペーパー回収」など児童が参加する取り組みや気温の計測などの取り組みを行った。 ②5年生を中心に家庭と連携してのエコノートやエコクッキングの取り組みを進めた。	成果と課題 ①児童会の環境委員会が中心となり、田越川沿いの清掃活動を行った。ごみの多さとマナーの低下を身をもって感じ、環境問題について関心を高めた。 ②教室のゴミ箱を分別できるように分けている。また、教室から移動する際は、電気や冷暖房の電源をこまめに消すよう努めている。 ③4年生では、浄水管理センターやクリーンセンターの見学をとおして、汚水やごみをリサイクルする過程を学んだ。そして、学んだことを家庭と連携し、ごみの分別や清掃活動などに積極的に取り組んだ。	成果と課題 ①児童会園芸委員会が取り組んだ「人権の花」運動では、種や苗を植えたり、毎日水やりをしたりして、成長を見守った。活動の成果は児童会朝会で低学年にも分かり易く、クイズを交えて発表した。また、環境委員会では、毎日気温の測定を続け、異常気象や温暖化について全児童が関心をもってもらうよう児童会掲示板に測定結果を掲示した。 ②教室ではゴミ箱を分別できるように分けているが、副読本や「エコ広場ずし」を活用し、ゴミの減量化を推進する取り組みを一層進めた。また、教室から移動する際は、電気や冷暖房の電源をこまめに消すよう努めている。 ③中学年では、浄水管理センターやクリーンセンターの見学をとおして、汚水やごみをリサイクルする過程を学んだ。そして、学んだことを家庭と連携し、ごみの分別や清掃活動などに積極的に取り組んだ。

行動プラン

⑧ 情報教育の推進

	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
	①発達段階に応じた系統性のある学習計画の検討を行う ②必要に応じて情報モラルについて外部機関との連携を進める	①発達段階に応じたIT機器やソフトを使用し系統性のある学習計画を実践していく ②情報モラルに対する意識の向上を図るため外部機関等を活用した授業を実施	①発達段階に応じたIT機器やソフトを使用し系統性のある学習計画を実践していく ②情報モラルに対する意識の向上を図るため外部機関等を活用した授業を
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①情報教育担当者を中心に取り組んでいる。 ②資料を基に高学年で指導した。今年度は外部機関を招へいしての学習は行うことができなかった。	成果と課題 ①低・中・高のブロック別に目標と評価規準を設定し、コンピュータ室を効果的に活用し、年間をとおして取り組んだ。 ②情報モラルについては、一部児童が問題のある画像を検索してしまった経緯があったので、今後一層の危機意識をもって指導に当たる必要性を感じた。	成果と課題 ①今年度は、特別支援級にタブレット型端末2台が導入され、特に情緒に障がいをもつ児童にパズルなどで効果的に活用を図っている。また低・中・高のブロック別に目標と評価規準を設定し、コンピュータ室を効果的に活用し、年間をとおして取り組んだ。さらに、高学年では、「dbookPRO」など新しいソフトを試験的に導入し実践を行った。 ②手引き書や副読本を活用し、授業を行った。また、教育研究所が主催する研修に情報担当教員が出席し、研修内容を共有した。

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(返子市立返子小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

- ・学校評議員、学校評価委員、地域協議会の役割等の整理する
- ・学校支援地域協議会事業の推進による開かれた学校づくりを推進する
- ・学校評価を活かした学校づくりを推進する

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・学校より情報発信を積極的に行い、保護者の反応をつかみ、学校の改善に役立てる。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	①学校ホームページの更新・発信を行う ②学校便り・学年便り・学級便り等による保護者への情報発信 ③保護者だけでなく地域への情報発信(掲示板等の活用)	①学校ホームページの充実を図る ②学校便り・学年便り・学級便りなど各種のお便りの充実を図る ③保護者だけでなく地域の方々の声も反映した情報公開を行う ④学校ナビ(返子小ガイド)の改訂・充実を図る	①学校ホームページの充実を図る ②学校便り・学年便り・学級便りなど各種のお便りの充実を図る ③保護者だけでなく地域の方々の声も反映した情報公開を行う ④学校ナビ(返子小ガイド)の改訂・充実を図る
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した	(評価) ①達成できなかった ②達成した ③達成した ④達成した
	成果と課題 ①「給食献立」「学校教育目標」など継続して発信し	成果と課題 ①「返子だより」「給食献立」「学校教育目標」など継続して発信し	成果と課題 ①「返子だより」「給食献立」「学校教育目標」など継続して発信し

<p>①教務部が担当し発信・更新を行った。 ②学校・学年・学級の便りの充実が図れた。 ③行事等で保護者アンケートを実施し意見の反映を心がけた</p>	<p>①、②根拠のない噂やツイッターによって混乱や学校への不信感をもたれないよう、学校からの情報を出来るだけ早く、正確にお知らせするため、様々な媒体をとおして発信を行った。 ③保護者や学校評議員、学校関係者評価委員より改善点等の意見を出してもらい、意見に対する具体的方策について、学校便りやホームページを通じて発信をした。 ④今年度学校支援地域本部及びボランティアによって逗子小ガイドの変更点や項目の加除訂正を全ページに渡って行い、大幅な改訂を行った。保護者にとって、逗子小学校の情報を知るためにより分かり易いガイドを作った。</p>	<p>ているものは更新をしているが、年度末アンケートの結果では情報が不十分と感じている保護者が多いようである。次年度のCMSへの移行に伴い、リニューアルさせ一層の充実を図ってきたい。 ②「学校だより」「PTAだより」また「学年・学級だより」を定期的に発行し、情報の発信に努めている。「学級だより」ではお知らせ情報にならないよう、学級の課題や授業の取り組みやめあて、教員の学級経営目標など掲載する教員も増えてきている。 ③PTA運営委員会や学校評議員、学校関係者評価委員より改善点等の意見を出してもらい、意見に対する具体的方策について、学校便りやホームページを通じて発信をしいる。また、「運動会」や「学校へ行こう週間」など保護者や地域の方に参加してもらえる行事にはアンケートを取り、出来るだけ意見を反映させた運営を行うようにしている。 ④「逗子小ガイド」は学校支援地域本部及びボランティアによって毎年、変更点や項目の加除訂正を行っている。特に、新入生保護者説明会では「図解入りで分かり易い」と評判である。保護者にとって、逗子小学校の情報を知るためにより分かり易いガイドとなるよう今後も学校支援地域本部の力を借りながら進めていきたい。</p>
--	---	---

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 地域教育力の活用	<p>①これまでの学校支援地域本部事業の整理 ②サポート通信の発行 ③地域コーディネーターを中心とした学校や児童のための支援についての検討と取り</p>	<p>①地域協議会の活動の充実を図る ②サポート通信の発行を推進する ③学校支援地域コーディネーターを1名位置づけ、中心とした学校や児童のための支援についての取り組みの充実を図る</p>	<p>①地域協議会の活動の充実を図る ②サポート通信の発行を推進する ③学校支援地域コーディネーターを1名位置づけ、中心とした学校や児童のための支援についての取り組みの充実を図</p>
	<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p>
	<p>成果と課題 ①、②、③学校支援地域本部事業の中で実施できた。今年度は『逗子小ガイド』の改定作業を行い、その中で地域との連携も進んだ。</p>	<p>成果と課題 ①サマースクールをはじめ、逗子小ガイドの改訂、読み聞かせなど本校における学校支援地域本部の役割は大きい。 ②学校支援地域本部によるサポート通信は、ボランティアの募集の際、大変有用であった。 ③今年度、本校における学校支援地域本部の規約を設け、学校支援地域コーディネーターを1名位置づけ、全体の調整役になってもらった。</p>	<p>成果と課題 ①学校評議員会と学校関係者評価委員会を年3回開催し、学校経営案、各校務分掌の取り組み状況等の説明や授業参観、給食の試食等とおして、広く意見をいただいている。また、改善点についても具体的に意見をいただき、全職員で共有し次年度へ繋げている。 ②学校支援地域本部によるサポート通信は、学校支援地域本部の役割や活動内容の趣致はもたらん、ボランティアの募集の際、大変有用であった。 ③学校支援地域コーディネーターには、4部門に分かれているサポーター運営委員の総括者として、全体をまとめ、逗子市が主催する実行委員会へ出席し、活動の報告をしてもらった。</p>

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 学校評価を生かした学校の改善	<p>①学校評価の場面、内容、項目等についての再検討 ②学校評価アンケートの結果を活用した教育活動の見直し</p>	<p>①検討された評価項目等による学校評価を実施する ②学校評価アンケートの結果を活用した教育活動の改善を行う</p>	<p>①検討された評価項目等による学校評価を実施する ②学校評価アンケートの結果を活用した教育活動の改善を行う</p>

	③学校・保護者・地域の三者協働による教育活動の推進	③学校・保護者・地域の三者協働による教育活動の充実を図る	③学校・保護者・地域の三者協働による教育活動の充実を図る
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	<p>成果と課題</p> <p>①、②教務部を中心に評価について検討を行い、集約も行い、学校の教育活動に反映するようにした。</p> <p>③クリーンアップイベント、サマースクール・サマーコンサート等で実践できた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①年度末には全職員にも学校評価のアンケートを実施し、授業参観等で実施したアンケートとあわせて学校関係者評価委員、学校評議員の意見を反映させ、次年度に向けた教育活動の改善を図った。</p> <p>②春の授業参観、秋の学校へ行こう週間、そして年度末に保護者、地域に学校評価に関するアンケートを実施した。</p> <p>③PTA及び、学校支援地域本部との連携は進んでいるが、さらに深めて行きたい。また、PTA活動と学校支援地域本部の事業との兼ね合いが課題として挙げられている。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①②年度末には保護者の他、全職員にも学校評価のアンケートを実施し、運動会や学校行こう週間等で実施したアンケートとあわせて学校関係者評価委員、学校評議員の意見を反映させ、次年度に向けた教育活動の改善を図った。</p> <p>③「クリーンアップ作戦」「サマースクール」等でPTA及び、学校支援地域本部との連携は進んでいるが、さらに深めて行きたい。また、今年度は課題となっていたPTA活動と学校支援地域本部の事業との兼ね合いが、前PTA副会長が学校支援地域本部の運営委員に加わり、橋渡しとなったことで徐々に改善が図られてきた。</p>

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅲ 教員の指導力の向上

1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・文化教育ゾーンに位置する学校としての教育活動の充実を図る
- ・指導と評価を一体化した教育活動を推進する
- ・授業研究の充実を図る

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・文化プラザ・市民交流センター・市立図書館との教育活動における連携を進めて行く
- ・指導計画、評価計画に基づいた教育活動を行い、授業づくりの工夫と改善についての検証を行う
- ・学校として初任者や経験の少ない教員を育てていく

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 授業研究の充実	①本校の研究テーマを踏まえた授業実践、又は、文化教育ゾーンの中にあるという立地条件を生かした授業実践を行う ②外部講師による授業評価等を参考にした取り組みを進める (評価) ① 達成した ② 達成した	①本校の研究テーマ(伝え合う心の育成)を踏まえた授業実践の充実を図る ②外部講師による授業評価等を参考にした授業改善を進める (評価) ①達成した ②達成した	①本校の研究テーマ(伝え合う心の育成)を踏まえた授業実践の充実を図る ②外部講師による授業評価等を参考にした授業改善を進める (評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①体育を中心とした研究推進の中で授業公開・授業研究を行った。また、文化教育ゾーンの施設活用を行った。	成果と課題 ①、②教育課題部(研究部)を中心に校内研究の推進が図れた。今年度は、昨年度までの研究に一区切りを付け、「自分	成果と課題 ①、②校内研究では、「自分の考えをもち、伝え合い、学び合う児童の育成」をテーマに昨年度からスタートさせた。今年度もブロックごと

<p>②研究授業および事前検討等で指導助言等を受け、授業に活かすよう心がけた。</p>	<p>の考えをもち、伝え合い、学び合う児童の育成」というテーマで、国語科を中心に、「言葉」を大切にする指導の工夫を追究した。低・中・高学年ブロックごとに授業研究を行い、研究講師の指導・評価を受けながら授業改善に努め研究内容の共通理解が図れた</p>	<p>に授業研究を中心に行った。授業では、伝え合う一つの手立てとして、「書く」ことを積極的に取り入れた。その結果、多くの児童が、自分の考えを取捨選択し、どのようにすれば相手に伝えることができるのか、考えて書くことができるようになってきた。</p>
---	--	---

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>② 授業評価の活用</p>	<p>①学校評価に関連した授業評価を実施する ②外部講師による授業評価を活用する ③児童の学力把握の調査を活用する</p>	<p>①学校評価に関連した授業評価を実施し、授業改善に役立てるとともに授業作りの工夫と改善についての検証を行う ②学習指導要領に即した評価規準の充実及び指導と評価の一体化を図る ③家庭との連携による家庭学習の充実を進める</p>	<p>①学校評価に関連した授業評価を実施し、授業改善に役立てるとともに授業作りの工夫と改善についての検証を行う ②学習指導要領に即した評価規準の充実及び指導と評価の一体化を図る ③家庭との連携による家庭学習の充実を進める</p>
	<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成できなかった ③達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p>
	<p>成果と課題 ①授業参観や学校へ行こう週間などの際に、授業に関しての評価を保護者にしてもらった。 ②研究授業の際の指導助言を授業に活かすよう取り組んだ。 ③学年ごとに児童の学習状況を把握し活用を図った。</p>	<p>成果と課題 ①自己評価、学校関係者評価を生かした授業改善は日々行っているが、今後も一層の授業力向上を図りたい。 ②経験者研修に当たっている教員は、指導と評価の一体化を意識して、指導計画・評価計画を練り、研究授業でも意識して取り組めた。また他の教員についてもノートやプリント、テスト等により授業ごとの評価を行ってはいるが、次の授業へそれをどう生かし改善を図るのかは教員間でも差があり課題である。 ③漢字や計算、日記など、学級によって家庭での課題は様々であるが、家庭との連携はよく図られている。</p>	<p>成果と課題 ①PDCAサイクルのもと、自己評価、学校関係者評価を生かした授業改善は日々行っており、成果も上がっている。今後も一層の授業力向上を図りたい。 ②経験者研修に当たっている教員は、指導と評価の一体化を意識して、指導計画・評価計画を練り、研究授業でも意識して取り組めた。また他の教員についてもノートやプリント、テスト等により授業ごとの評価を行ってはいる。依然教員間の差はあるものの、OJTや教育指導教員の活用で効果は上がってきている。 ③漢字や計算、日記など、学級によって家庭での課題は様々であるが、家庭との連携はよく図られている。学年・学級懇談会を通じて家庭への周知を図っている。</p>

行動プラン	H25(2013)年度取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>③ 研修事業の充実</p>	<p>①各自が積極的に授業公開を行う ②自己研修の目的を明確にして研修を受ける ③初任者や経験の少ない教員を学校全体</p>	<p>①各自が積極的に授業公開を行う ②自己研修の目的を明確にして研修を受け、レベルアップを目指す ③初任者や経験の少ない教員に対して</p>	<p>①各自が積極的に授業公開を行う ②自己研修の目的を明確にして研修を受け、レベルアップを目指す ③初任者や経験の少ない教員に対して</p>

	で育てる	学校全体で育てる	学 校全体で育てる
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した
	成果と課題 ①校内研究推進においてほぼ全員が授業公開を行った。 ②自己観察書研修目標で課題を明確にし、それに応じて研修を行うことができた。 ③初任者の育成には学校全体で取り組んだ。	成果と課題 ①校内研究のテーマに即し、積極的に授業公開、研究協議が進められた。 ②自己の課題に即した、学校教育課や教育研究所主催の研修会への積極的な受講を呼びかけ、研修後はその成果を授業改善に取り入れている。 ③初任者や臨任教員、非常勤教員については、教育指導員の指導を受け、指導力のアップを図るとともに、学年全体でフォローする体制をつくり、チームとして取り組んでいる。	成果と課題 ①初任研、年次研、臨任・非常勤研等の授業公開はもちろん、今年度も、校内研究のテーマに即し、各ブロックで積極的に授業公開、研究協議が進められた。 ②引き続き、自己の課題に即した、学校教育課や教育研究所主催の研修会への積極的な受講を呼びかけ、研修後はその成果を授業改善に取り入れることができた。 ③初任者や臨任教員、非常勤教員については、OJTはもちろん、教育指導教員の指導を受け、指導力のアップを図るとともに、学年全体でフォローする体制をつくり、チームとして取り組むことができた。